

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 はぐみープラス		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ一人ひとりが、専門性を持ち、真摯に療育を行っていること	感覚統合、応用行動分析、PECS、言語認知プログラム、9つのアプローチ法等を学び、一人ひとりに合ったオリジナルプログラムの療育を行っている。	PDCAサイクルを行いながら、常に療育内容を振り返り、より適切な療育を提供する。スキルアップの学びを継続し続ける。
2	「保護者の応援団」という理念のもと、保護者の思いを理解しようとする姿勢を大切に保護者の方に並走していること	子どもの思いとは別に、保護者の思いも大切にしている。労いと、保護者の方の思いをイメージし、保護者の方が少しでも心が軽くなるお手伝いをしている。	支援者自身を整え、保護者の思いに適切にこたえながら、共に歩んでいく姿勢を大切にしていく。
3	スタッフ同士、お互いの違いを認め合い、自分自身を見つめようとしていること	交流分析や気質学等の研修を通して、人と自分は違うことを理解している。否定的に感じたことは己を振り返り、気づきを得ることを大切にしている。	自分が見えている世界は、自分自身が作っているということがもっと腑に落ちていくように、心理的な学びを取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語聴覚士・作業療法士・理学療法士という専門職がないこと	現在は療育スタッフが専門知識をカバーするよう努力しているが、医療的視点や機能訓練の観点での支援に限界がある。	専門職との外部機関連携の強化と個人の専門性をさらに高めていく。
2	夕方の時間帯に療育が集中すること。	保育園や幼稚園が終わってから利用される方が多いため、どうしても夕方以降に療育が集中する。次の時間の入れ替えの時に子どもも大人も人数がいっぱいになり、子どもたちの安全確保やフィードバックが行き届きにくくなってしまう。	安全確保やフィードバックが安心してできるように、スタッフの配置を増やす。また、スタッフ間でも声をかけあい、場の把握を行う。

公表

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援はぐみープラス

公表日 2026年 3月 6日

利用児童数 2026年 2月 28日

回収数 18名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2			出入口が混雑時に少し狭く感じるが、活動のスペースは確保されていると思う。	法令を遵守したスペースを確保しています。入れ替え時の出入口の混雑が少しでも軽減できるように、靴下の着脱の場を玄関ではなく活動部屋で行うようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18				一人ひとり職員が配置され、いろいろな職員が関わってくれるので嬉しい	法令が必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				・バリアフリーではない ・支援カードがあり視覚的にわかりやすい。トイレも安心してできる環境になっている。	玄関に段差があるので、必要な時、スロープを装着します。パーテーションやカーテンなどで、お子様の注意集中ができるよう視覚の構造化も図っています。どこに何を置くかがわかるよう写真や絵カードを使用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				・空間の真ん中に大きな滑り台があり、楽しんで活動に参加している。 ・とても居心地の良い環境だと思います。	お子様が楽しく通っていただけるよう、明るく楽しい空間づくりをしています。また、運動活動から机上の活動までできるように空間設定をしています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				子どもの好きなキャラクターや動物等を活動に取り入れて進めてくれる。	毎月の研修の他、継続的に療育スキルの研修を行い、全てのスタッフが日々の療育内容をスキルアップしています。今後も継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18				運動、リズム、手先など発達段階に合った内容で取り組んでくれる。	支援プログラムに表記している、5領域に即した内容の療育を行っています。今後も継続していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				子どもの課題に合った内容を特性に応じて個別支援計画を作成してくれる。	お子様一人ひとりの支援計画期間ごとにアセスメントをとり、担当者によるケース会議を経て、個別支援計画を作成しています。今後も、お子様、保護者様と共に、ニーズに合った支援計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				・児童発達支援ガイドラインに示す支援内容が記入され、子どもの特性や課題に合った内容が示されている。 ・登園できない時期に相談にのっていただけでありがたかった。	ペアレント・トレーニングや面談等による家族支援、保育園や幼稚園との関係機関連携を随時行っています。今後も継続していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				本人や家族への支援内容が示されていて、内容に合った支援が行われている。	個別支援計画では、お子様一人ひとりに合った目標設定を行い、その目標達成に向けて療育を行っています。今後も継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18				・定期的に見直しされている ・いつも工夫されていて、今日は何か？と楽しみにしている。	お子様一人ひとりに合った療育内容を提供しています。スムーズステップでの成功体験を毎回できるように療育内容を考えて取り組んでいます。今後も継続していきます。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	3	6	・保育園の先生と連携を取っていただいている。 ・普段入所している保育園へ来てくださり、生活の様子を見てもらった。	地域交流については、限られた時間設定の中では難しく実施することはしていません。普段通われている園での交流を大切に、連携を図っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				細かく記載されていた。	運営規定、利用者負担額などについて、契約時に丁寧にご説明しています。事業所内に重要事項説明書を提示しています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				教えてもらった。	個別支援計画に沿った、支援内容を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18				ペアレント・トレーニングを受けて、子どもとの関係がよくなった。	随時、ペアレント・トレーニングや個別相談を受け付けています。お声がけしていただけたらと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18				毎回振り返りがあり、活動内容を共有できている。	毎回、療育後にフィードバックをさせていただいています。ご家庭での様子もお聞かせいただき、共通理解を図っています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18				・モニタリングや15分のフィードバックはありますが、もう少しゆっくりお話できる場があればと思います。 ・面談をしてもらったり、振り返りの際に家庭での困った様子を話せている。	随時個別面談を承っておりますので、お声がけいただけたらと思います。 フィードバック時も、保護者の方のお悩みにお答えさせていただいています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				・親の悩みを聞いて寄り添ってくれて、励ましてくれる。	「保護者の方の応援団」として、保護者の方の思いを大切にし、並走しながら支援を行っています。今後も、お話いただけたらと思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	8	8	保護者さんとの交流はしてませんが、支援はされているのだと思います。	保護者イベントを開催しています。今後は、さらにイベントの回数を増やしたり、座談会も開催し、保護者様同士やきょうだい同士の交流の機会を設定したりします。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					事業所内では、相談対応者を設置しております。ご相談があった時は、迅速に対応させていただいています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					・フィードバックをしっかりしていただいているので安心している。	お子様と保護者様の意思疎通が図れるよう、それぞれの思いを大切にしながら対応させていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3				インスタグラム等で活動の情報を流している。連絡帳アプリで日々の活動を共有している。	インスタグラム等で活動を見ていただけるようにしています。ホームページにて、自己評価の結果等を見ていただけるようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					SNS等顔出しNGにしている。個別の部屋で面談してくれている。	個人情報記載された書類は、鍵付きのキャビネットへ保管しています。個人情報へアクセスできる端末においては、パスワード設定を徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		2	子どもも安心して訓練を受けている。	避難訓練や感染症予防対策を行っています。より周知していただけるように、定期的な情報提供を行います。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18					年に2回、避難訓練を行っています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					避難訓練や引き渡し訓練を計画に基づいて実施しています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18					小さな怪我ももちろん、傷になっていない場合でも、頭を打ったりこけたりした時も必ず報告させていただき、お家でも様子を見ていただいています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				楽しく参加している。	お子様の気持ちを大切に、スタッフ一人ひとりと信頼関係を築いて安心して通所していただけるよう、今後も努めていきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				・親子でとても楽しみにしている。 ・「もっとしたかった」と言うぐらい楽しんでる。 ・毎回とても楽しみにしています。	お子様が「できた！わかった！おもしろい！」の経験をどんどん積んでいけるように、今後も努めていきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・いつも丁寧にフィードバックをしてくれるので大変満足している。 ・日々できることが増えていると感じてもありがたい。 ・アドバイスもたくさん教えてくれるので助かっている。	お子様そして保護者様一人ひとりに合った支援を今後も行っていきます。	

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	児童発達支援はぐみいープラス	公表日	2026年 3月 6日
------	----------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	継続しながら、常に物の配置等を考えながら、よりベストなスペース確保に努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		何がどこにあるかがわかりやすい環境設定になっています。	玄関に段差があるので、必要な時にはスロープを装着します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		プレキエーションの設置など、お子様が「楽しそう!」とワクワクする空間をつくっています。体を動かす空間・机上で活動する空間をつくっています。また、毎日清掃・消毒を行っています。	今後も、パーティションなどを使用しながら、活動のメリハリをつけられるようにしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		周りからの刺激が少なくなるよう、四方が囲まれている場所をつくっています。事務所でもクールダウンできるようにしています。	今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のフィードバック、毎月の会議等で、スタッフ全員が参画しています。	今後も継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表をスタッフ全員で共通理解し、内容を業務改善につなげています。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のフィードバック、毎月の会議、面談、随時スタッフからの質問等を受けるなど、スタッフの意見等を把握する機会を設け、業務改善につなげています。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者と事業所の2者評価をとっています。現在、実施の予定はありません。	今後必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修を行っています。また、それ以外でも、必要に応じて研修を行っています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、ホームページ、Instagramに公表しています。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントを取り、それぞれのお子様・ご家族に沿った支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		適宜ケース会議を開き、子どもの支援に関わるスタッフとの共通理解の上作成されています。	今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全スタッフ間で共通理解されて、計画に沿った支援を行っています。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		言語認知プログラム、日々の記録を通して子どもの状況を確認しています。	今後も継続していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ペアレント・トレーニングや面談等による家族支援、保育園や幼稚園との関係機関連携を随時行っています。	今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ間で相談し合いながら立案しています。	今後も継続していきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムがパターン化しないようスタッフ間で案を出し合い、様々な視点からアプローチするようにしています。	今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて、少人数グループでの療育を行っています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援の担当確認、準備も行った上で支援に入っています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、支援終了後にフィードバックを行っています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の療育の記録を取り、支援の検証・改善に活かしています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画期間ごとにモニタリングを行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者と主な担当スタッフが参画しています。	今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関の連携を保護者様にもすすめ、連携を大切にしています。	今後も継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園との連携を大切にしています。支援内容等の情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		児童発達支援のみのため、小学校入学の際の連携をとる機会が難しいです。	必要に応じて、3月末までに小学校や特別支援学校(小学部)と情報共有をとりたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		外部専門家による研修や助言を受けています。	今後、地域の児童発達支援センターとの連携も図っていききたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域交流については、限られた時間設定の中では難しく実施することはしていません。普段通われている園での交流を大切にし、連携を図っています。	今後も普段通われている園との連携を大切にしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、療育後にフィードバックをさせていただいています。ご家庭での様子もお聞かせいただき、共通理解を図っています。	今後も継続していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		随時、ペアレント・トレーニングや個別相談を受け付けています。	いつでもお声がけいただけるよう、玄関にも掲示します。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担額などについて、契約時に丁寧に説明しています。事業所内に重要事項説明書を提示しています。	今後も継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		必ず、お子様、保護者様の意向をお伺いし、そこに沿った支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画をお見せしながら説明し、保護者様から同意を得ています。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバック時も、保護者の方のお悩みにお答えさせていただいています。また、随時個別面談を承っております。	今後も継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者イベントを開催しています。	今後は、さらにイベントの回数を増やしたり、座談会も開催し、保護者様同士やきょうだい同士の交流の機会を設定したりします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所内では、相談対応者を設置しております。ご相談があった時は、迅速に対応させていただいています。	今後も継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラム等で活動を見ていただけるようにしています。ホームページにて、自己評価の結果等を見ていただけるようにしています。	今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は、鍵付きのキャビネットへ保管しています。個人情報へアクセスできる端末においては、パスワード設定を徹底しています。	今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様と保護者様の意思疎通が図れるよう、それぞれの思いを大切にしながら対応させていただいています。	今後も継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行事に地域の子育てサークル・助産院と連携を図っています。	地域で子育てに携わっている方々と今後も連携を深めていきたいと思っております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		避難訓練や感染症予防対策を行っています。	より周知していただけるように、定期的な情報提供を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、年に2回、避難訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		一番最初の面談時の時に確認をしたり、フェイスシートにも記入をお願いしたりしています。	今後も継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子様の対応の仕方を保護者様と情報共有しています。エビベン講習も行っています。	今後も継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練や引き渡し訓練を計画に基づいて実施しています。	今後も継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		療育中に災害が起こった場合の対応を保護者の方へお伝えしています。また、引き続き訓練を行い、実際に活かせるようにしています。	今後も継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さなことでも、ヒヤリとしたことはヒヤリハットに記載し、スタッフ間で共有し、再発防止に努めています。	今後も継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開き、研修や振り返りを行っています。	今後も継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	現状、身体拘束を行う必要性がないため、個別支援計画への記載はしていません。	今後必要な場合は、保護者の方への十分な説明を行い、了承を得た上で、個別支援計画に記載させていただきます。	